

# NEW AGE MEDICINE



2024  
07  
vol.14

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

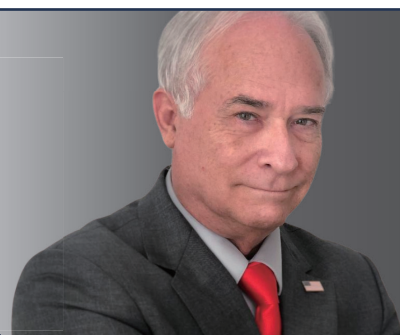


**Dr. Ron  
Hunninghake**

**RIORDAN IVC ACADEMY  
2024 in TOKYO**

リオルダンIVCアカデミー2024特集

**Dr. Thomas  
E. Levy**



**Riordan  
Clinic**

ADVANCING HOPE, HEALING & HEALTH

Wichita • Overland Park

# CONTENTS

## P.04 / リオルダン IVC アカデミー 2024 開催にあたり

三番町ごきげんクリニック 前田陽子

## P.06 / 点滴・栄養療法 症例報告 高濃度ビタミンC 特集

医療法人社団 貴正会 理事長 村上 正志

きさめきクリニック 院長 木佐貫 浩一

かとう歯科医院 院長 加藤 通子

## P.12 / 国際学会参加レポート

点滴療法研究会マスターズクラブ

会長 柳澤厚生

副会長 松村 浩道

## P.16 / 会員クリニック紹介

友枝歯科・矯正歯科クリニック福岡天神

総院長 友枝 亮

## P.19 / 新会員サービス

動画サイトリニューアルのお知らせ

## P.22 / 協賛企業のご紹介

## 点滴療法研究会とは

点滴療法研究会マスターズクラブとは、最新のエビデンスに基づいた点滴療法を提供する医師・歯科医師・獣医師を会員とするグループです。会員は患者様が安全に治療を受けられるよう常に技術を磨いています。

最新知見の  
収集

学びの提供

安全で効果的な  
点滴療法を日本の医療の  
スタンダードに

会員ネットワーク  
構築

一般認知  
拡大



点滴療法研究会 特別セミナー

Riordan IVC Academy 2024

# リオルダン IVCアカデミー

逐次通訳

世界的権威から学ぶ高濃度ビタミンC点滴療法の最新トピックス  
高濃度ビタミンCの聖地、リオルダンクリニックより  
ロナルド・ハニハイキ先生、トーマス・レヴィ先生来日決定！

2024 **9.29** SUN

会場：シティホール&ギャラリー 五反田

## 豪華講師陣



ロナルド・ハニハイキ リオルダンクリニック 所長

1976年カンザス大学医学部卒業、レジデントプログラム修了後はカンザス市の家庭医として地域医療に携る。1989年に国際人間機能改善センター(2010年にリオルダンクリニックに改称)の臨床部門の主任に迎えられ、創立者でビタミンC点滴療法の世界的権威である故ヒュー・リオルダン氏の下で分子整合医学や統合医療を学び、患者の治療に携る。リオルダン氏の亡き後は後継者としてセンターを運営。米国ホリスティック医学協会認定専門医、カンザス家庭医協会会員、カンザス医師会会員。



トーマス・レヴィ リオルダンクリニック コンサルタント  
／心臓専門医／弁護士

1972年Johns Hopkins 大学卒業、1976年Tulane 医科大学卒業、Tulane 大学関連病院で研修、その後、同大学関連病院に循環器専門の特別研究員として従事。  
Tulane 医科大学で准教授を務める。心臓専門医と弁護士の資格を保有。アメリカ心臓学会(American College of Cardiology)フェロー。

## リオルダンクリニックとは



Riordan Clinic

リオルダンクリニックは、米国カンザス州にあるビタミンC点滴療法の世界的権威である、故ヒュー・リオルダン博士によって設立された施設です。アメリカ国内におけるオーソモレキュラー医学の発展に大きく貢献しています。ビタミンC点滴のプロトコルは、リオルダンクリニックの順番に基づいて作成されています。



## 柳澤厚生会長よりコメント



ビタミンC点滴を導入されている、あるいはこれから学びたい先生方にビッグニュースです。ビタミンC点滴の基本から最新アップデートまでIVCの必須情報を世界的権威から学ぶことができるリオルダンIVCアカデミーが、日本で開催されることが決まりました。以前は世界各国で開催されていたリオルダンIVCアカデミーですが、コロナのパンデミックにより一時開催を中止していました。今回、パンデミック後はじめてのアカデミーを、世界に先駆けて日本で開催します。講師は、私の師匠であり友人であるハニハイキ先生とレヴィ先生です。世界的なプログラムを、日本にいながら、言語の心配なく受講できる、またとない機会です。ぜひ今から日程を確保してください。

／早期割引は8月29日(木)まで／





# 17年ぶり/ リオルダン in JAPAN 日本開催 IVC アカデミー

## 「リオルダン IVC アカデミー 2024」開催にあたり

この度は、リオルダンクリニックのセミナーが日本で開催されることを心からお祝い申し上げます。このセミナーが、多くの方々にリオルダンクリニックの素晴らしい研究と臨床成果を知っていただく貴重な機会となることを大変嬉しく思います。

私はリオルダンクリニックにてリサーチフェローとして1年半にわたり学びを深め、この経験を通じ、機能性医学の重要性とその実践が、いかに人々の健康と生活の質を向上させるかを学んで来ました。今回のセミナーでは、リオルダンクリニックのロナルド・ハニハイキ先生、トーマス・レヴィ先生の両先生から直接お話を伺えるまたとない機会が得られることに、大きな期待と喜びを感じています。



▲筆者とクリニックスタッフ

## リオルダンクリニックのご紹介

リオルダンクリニックは1975年にヒュー・リオルダン先生によってカンザス州ウィチタの37ヘクタールにも及ぶ広大な敷地に設立されました。

クリニックが開発したがん治療の補助療法としての高濃度ビタミンC点滴プロトコルは、がん治療において新しい標準を築くことで、世界中の多くの患者さんのQOLを向上させ、希望を与えています。

このように高濃度ビタミンC点滴が有名なリオルダンクリニックですが、行っている医療は高濃度ビタミンC点滴だけでなく、クリニック創設者のヒュー・リオルダン先生が分子栄養学の父とされるライナス・ポーリング博士やビタミンC点滴を発展させたイワン・キャメロン先生の友人であったことからわかるように、分子栄養学や幅広い機能性医学を用いた包括的な医療を提供していました。現在はロナルド・ハニハイキ先生を始め、約50人のスタッフがクリニックを支え、高濃度ビタミンC点滴の実施件数は9万回を超えています。

クリニックはまた、診療だけでなく研究施設も併設しており、高濃度ビタミンC点滴をはじめとする多くの栄養素の研究が行われ、機能性医学で用いられる様々な検体検査に関しては全米から多くの検体を受け入れて分析しています。

クリニックの地下には患者さんも使うことができる

栄養学や医学に特化した図書館や、私がいた頃には使われていませんでしたが以前はレストランも営業していたり、会議室、瞑想やヨガなどのレッスンを行ったりするピラミッド、建物の外には広大な自然保護区(自然保護区では野生の鹿やターキー、リスや稀にスカンクも見ることができます)、池、遊歩道、有機菜園、ストレスを解消するためのレンガを投げる場所があったり、とても贅沢な設備とマンパワーをもって、患者さんを包括的に患者様の健康を総合的にサポートしていました。クリニックを訪れる患者さんは、アメリカ全土はもちろん世界47ヶ国に及び、1日の来院数は10～15人程度、その内訳としてはがんの患者さんは全体の7割程度でした。高濃度ビタミンC点滴は1日約12～15件、他にもキレーションやオゾンの局所注射、衝撃波を用いた治療や、予防医療、ダイエットの相談、小児の患者さんが来院することもありました。



▲クリニック外観





## 筆者：前田 陽子先生

三番町さきげんクリニック  
2012年浜松医科大学医学部医学科卒業。沖縄県立南部医療センター・  
こども医療センターで初期研修、京都府立医科大学放射線科、美容ク  
リニックでの勤務を経て点滴療法研究会のセミナーで高濃度ビタミン  
C点滴と出会い、アメリカリオルダンクリニックリサーチフェローと  
して留学。米国先端医療学会 (ACAM) キレーション専門医、米国抗加  
齢医学会 (A4M) の専門医 (ABAARM)、フェロー (FAAMFM) 取得

## リオルダンアプローチ

私がリオルダンクリニックで学んだことの中から、  
中核となるリオルダンアプローチという、クリニック  
のフィロソフィーをご紹介します。

### I. 患者さんとの関係は、co-learner

コ・ラーナーとは「共に学ぶ者」という意味です。  
リオルダンクリニックでは、患者さんが自分の治療を  
医療従事者にお任せにするのではなく、共に学び実践  
する立場で自分の医療に向き合うことが求められま  
す。またクリニックの全スタッフ、つまり医師、看護  
師や研究者、受付、食事サービスの提供者、秘書、管  
理業務に携わるスタッフ、庭師、ボランティアまでも  
が、コ・ラーナーとして働いています。

### II. 原因を特定する

症状に対する対症療法ではなく、不調の根本的原因  
を特定し、その一つ一つに対応することを目標としま  
す。

### III. 生化学的な個別性に対応する

たとえ同じ疾患名のついた病気を持つ患者さんで  
も、その生化学には 100 通りもの違いがあることがあ  
ります。これらの個性差に対応する個別化医療を実践  
します。

### IV. 全人的なケアを行う

リオルダンクリニックでは、単に薬やサプリを処方  
するだけでなく、患者さんを取り巻く生活全体に包括  
的にアプローチを行います。

### V. 食事を薬とする

医学の父 ヒポクラテスが食事療法の重要性を認識し  
ていたように、その方にあった食事を選択しその食事  
によって健康に近づく努力を行います。

### VI. 健康的な予備力を育てる

リオルダンアプローチはガーデニングに例えること  
ができます。綺麗に整えられ、豊富な作物が育つ庭は、  
手間や時間、ガーデニングの知識を得るため学ぶこと  
を惜しまなかった努力の賜物です。人も同じで、栄養  
素の予備力、健康的な習慣、家族や友人、同僚の支援  
のネットワーク、精神的な安定、生きがいを持つこと  
などが、人生の荒波に立ち向かう力の支えとなります。

### VII. 内なる癒す力を発揮する

I～VIのような包括的な治療を行って初めて、自然  
の内なる癒しの能力を発揮できるようになります。自  
身の体が自分で改善していく過程を信じて見守りま  
しょう。



▲院内の自然保護区



▲サプリメント陳列棚

## 講演に対する期待と結び

リオルダンクリニックの先生方の豊富な臨床経験  
と、最前線の知識を存分に学ぶことができる IVC アカ  
デミーは、日本の医療従事者や一般の方々にとって、  
非常に貴重な情報とインスピレーションを提供するも  
のとなることを確信しています。

また少しでも多くの先生方がリオルダンクリニック  
の情報に触れ、それを実臨床に取り入れることで、日  
本の統合医療がさらに進化し、多くの人々の健康が向  
上する一助となることを期待しています。

私は 2017 年に行われたリオルダン IVC アカデミー  
で初めてハニハイキ先生とレヴィー先生にお目にか  
かり、リオルダンクリニックへの留学を決め、文字通り  
人生がガラッと変わりましたが、今回のセミナーを通  
じて、また何かしら人生が変わるヒントを見つけられ  
たら良いなととても楽しみにしています。

# 高濃度ビタミンC点滴療法が教えてくれたこと ～ステージ4は末期ではない!?～



医療法人社団貴正会 (村上内科医院・  
京都山科きぼうのクリニック・  
仁王門診療所) 理事長

## 村上 正志 先生

京都府立医科大学卒業、医学博士

元京都府立医科大学客員講師

1982年に村上内科医院を開院し、開業医として働きながら基礎研究にも取り組み学位取得。

2008年より点滴療法研究会に所属し、多数の癌患者に高濃度ビタミンC点滴療法を行っている。なお現在は腹水が多く高濃度ビタミンC点滴療法が施行できない末期癌の方に対して腹腔内癌治療を行うことで、がんの進行を止めるべく日々治療に取り組んでいる。

また2024年4月より保険診療と高濃度ビタミンC点滴療法部門を長男に継承。

自身は近隣に新たに京都山科きぼうのクリニックを設立し、統合医療(腹腔内治療・レーザー治療、遺伝子治療・免疫治療)、抗加齢医療、点滴療法など幅広い視点で癌治療を提供している。

2024年4月号より再掲

### はじめに

医療の発展により、がん治療も一昔前に比べて選択肢が非常に増えました。それに伴い保険外診療を選択する方も増加しています。また検査の精度も年次高まり、早期発見され、治癒する癌も増えております。そのため今後点滴療法は保険治療との並行だけでなく、これらの癌の治癒後の予防投与という選択肢としても期待されます。点滴療法研究会では様々な高濃度ビタミンC点滴療法が奏功した症例を提示されておりますが、当院でも過去に非常に奏功した方がおられるため提示させていただきます。点滴療法研究会会員の皆様の今後の診療の一助になれば幸いです。

### 症例1

#### 51歳女性

#### 【病歴・経過】

平成20年7月に他院にて両側の乳房腫瘍(右5cm、左3cm)を指摘され、精査で両側乳癌と診断される。PET-CT検査を施行したところ両側の乳房以外に肝、脊椎などに集積を認め肝転移・多発骨転移(広範囲の転移を有するStageⅣ)と診断された。

同年8月より抗がん剤(アントラサイクリン系、タキサン系、アルキル化薬)での治療を開始。また同時期より当院へ受診され9月より高濃度ビタミンC点滴療法を開始した。(60gを週に2回)同年12月に乳房には視診にて病変部に一致した軽度の陥凹を認め、触診でも腫瘤を疑う硬結は触知しなくなっていた。また同時期に施行したPET-CTでは両側の乳癌は消失しており、肝転移巣、骨転移巣に関しても集積を認めなかった。腫瘍マーカーは元々CA15-3のみ129(単位)と高値であったが、抗がん剤と高濃度ビタミンC点滴療法の併用により治療開始から約5か月で正常範囲に改善。その後も高濃度ビタミンC点滴療法を2-3週に1回、化学療法(タキサン系、アルキル化薬)を継続し概ね正常範囲を保つことができた。平成22年7月時点で特に再発なく経過していたがその後ご本人の転居に伴い当院での治療も終了となった。



## 考察

本症例に投与したビタミンCの投与量としては点滴で60gを週に2回に加え、内服で毎日4gであり、標準的な点滴療法の癌治療を基本的な治療に準じて行いました。現在の一般的ながん治療において治癒が困難と考えられたものの、ビタミンCを併用することで無増悪期間が少なくとも2年を超えた貴重な症例です。

本症例では予後が非常に厳しいと予測されており、多くの終末期癌患者の診療に携わってきた私からみても予後は半年程度ではと考えていました。しかしご本人は非常に目力もあり治療に前向きに取り組まれました。治療開始時には骨転移巣による疼痛のため腰を曲げながら必死に通院されたことが今でも思い出されます。それが高濃度ビタミンC点滴療法開始してからわずか3か月後にはPET-CTで殆ど癌の集積が認められなくなりました。

乳腺外科の担当医も「PET-CTの所見を額縁に入れておきなさい」というほど驚く治療効果に、高濃度ビタミンC点滴療法を導入して間もない私は非常に感銘を受けました。ステージ4と聞くとすぐに終末期ケアを勧める方も多いと思いますが、患者さんは皆少しでも長く元気に生きたいと考えます。そんな時こそ私たち点滴療法研究会のメンバーの出番です。

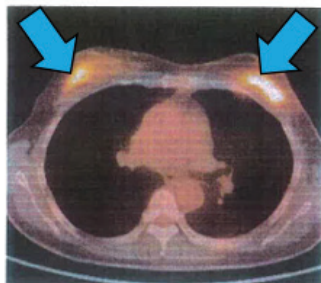
## 終わりに

本症例を皮切りに多くの患者さんにビタミンC点滴を行って参りましたが、気づけば点滴療法研究会発足時より参加しており、今年で早くも16年になります。

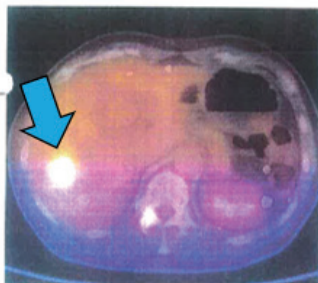
本症例から私のがん患者に対する研究が本格的に始まり、現在は多角的視点から治療を展開する統合医療を行っています。主に点滴療法としては、がん患者の本来持っている免疫力・抗酸化力を高める体に優しい治療を提供しています。がんは活性酸素による細胞やDNA損傷により発生すると考えられています。免疫力・抗酸化力を高めることで活性酸素の発生を抑えることができ、これらの損傷を予防できるためがんの発生や治療に有効と言われています。高濃度ビタミンC点滴療法を含めた色々な治療を組み合わせながらの方でも健康に永く生きられる方法をいつも追求しています。

ステージ4の癌は末期癌ですが、まだ栄養点滴をして体力さえあれば抗癌剤治療ができます。決して、終末期癌(余命2~3週で寝返りもできない状態)ではありません。終末期癌の状態になるまでは、治療は可能(特に栄養点滴、VC点滴等)と思います。患者とその家族が望まれるなら、諦めずに、治療をしてあげたいと思います。

## 治療前



両側乳房に集積あり

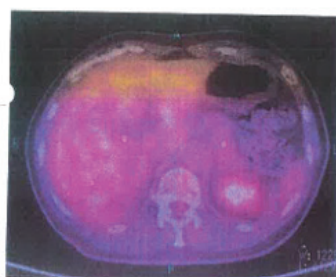
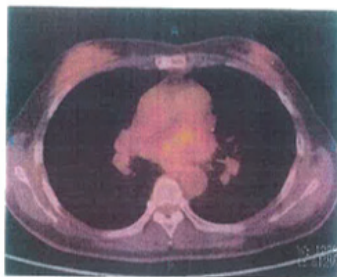


肝臓に集積あり



脊椎に集積あり

## 治療後



乳房、肝臓、脊椎への集積が全て消失



## 「自院での高濃度ビタミンC点滴療法について」

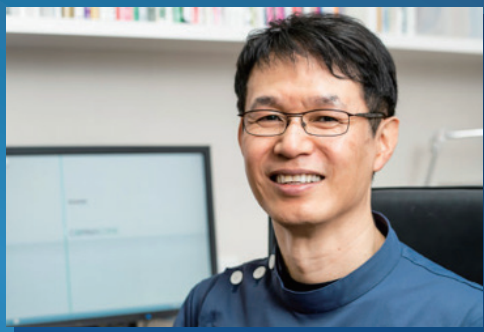
私の考える補完代替医療における点滴療法は、下記の5つのように考えています。

- (1)体内や自然界にある栄養素等を使う(ビタミンC、ビタミンB群、グルタチオン、ミネラル、過酸化水素、NMNなど)
- (2)血液に直接入れることで栄養素が栄養的効果だけでなく、薬理的作用を発揮する
- (3)酸化・抗酸化力を使った治療
- (4)体の中の毒素を出すことができる(デトックス)
- (5)副作用はほとんどない(適切な手順の元において)

点滴療法には、下記に示す通りの種類がありますが、自院では①高濃度ビタミンC点滴療法、②オゾン療法、③マイヤーズカクテル点滴、④グルタチオン点滴を施行しています。

高濃度ビタミンC点滴療法を希望される方は、1)がん治療・予防、2)慢性疲労(副腎疲労)、3)感染症予防(細菌、結核、ウイルス等)、4)アンチエイジング目的の方が多いです。

今回は、がん治療目的の高濃度ビタミンC点滴についての症例を報告いたします。



医療法人トータルメディカルケア

きさぬきクリニック 院長

**木佐貫 浩一** 先生

### 【略歴】

昭和63年3月熊本大学医学部卒業、平成7年4月熊本大学大学院医学研究科内科学専攻卒業博士号取得。

平成元年4月熊本大学医学部代謝内科(現熊本大学病院糖尿病・代謝・内分泌内科)入局。熊本医師会立熊本地域医療センター内科、公立玉名中央病院代謝内科(現くまもと県北病院)、国立療養所三角病院内科、国立病院機構熊本南病院内科、医療法人厚生会三角クリニック院長勤務を経て、平成23年3月シャワー通りきさぬきクリニック開業し、その後平成25年11月に現在の場所に移転開院。

### 【所属学会】

日本内科学会所属(認定内科専門医)  
日本糖尿病学会所属(専門医)  
日本内分泌学会所属(専門医)  
日本抗加齢医学会所属(専門医)  
日本肥満学会所属など

### 点滴療法の種類

- ①高濃度ビタミンC点滴
- ②オゾン療法
- ③マイヤーズカクテル点滴
- ④グルタチオン点滴
- ⑤キレーション療法
- ⑥プラセンタ療法
- ⑦アルファリポ酸点滴
- ⑧NMN点滴・NAD点滴
- ⑨エクソソーム点滴



### 症例1 67歳女性 悪性リンパ腫(濾胞性リンパ腫)(CR)

2016年6月悪性リンパ腫(濾胞性リンパ腫)Stage IIIと診断され、同年8月10日からR-CHOP療法を開始、同年11月までに5クール(6クール予定)で終了。同年9月12日より高濃度ビタミンC点滴25gを開始し、その後は50gを週に1回施行。

2017年1月CTにてCR。その後、月に1~2回程度50gを施行し、現在も再発なし。

### 症例2 35歳男性 下行結腸がん術後

2018年7月30日にイレウスにて入院し、下行結腸がんによる腸閉塞の診断にて左半結腸切除を施行された(pT3(ss)N2M0 p Stage IIIb)。2018年9月5日~2019年1月30日間に術後補助化学療法としてXELOX療法を8クール施行される(同時に他医で2018年10月1日に細胞免疫療法併用)。2019年2月6日より高濃度ビタミンC点滴療法25gを開始(化学療法6クール目、現在50g2週間に1回)。2019年3月1日のCTでは再発を認めず。

### 症例3 54歳女性 左側乳がん術後

2018年9月に乳がん(左側)の手術を受けた(Stage Iリンパ節郭清なし)。2019年9月5日より高濃度ビタミンC点滴療法を開始し(25g継続中)、定期的検査にても、現在再発なし。

### 症例4 79歳男性 骨髄異形成症候群

2017年5月に骨髄形成症候群と診断され、抗がん剤治療を施行していた(以前に肺がん、前立腺がんの手術の既往があるも完治している)。2019年1月15日より自院にて高濃度ビタミンC点滴療法25gを開始し(以前は他医にて施行していた)、その後も25gを月に1回程度の点滴を施行中であるが、定期的検査にても病状は落ち着いている。

### 症例5 73歳男性 上行結腸がん術後

2022年6月に上行結腸がんの手術を受けた(Stage I)、その後定期的に検査を受けていた。2023年2月16日より高濃度ビタミンC点滴療法25gを開始し、同年6月20日の腹部CT等の検査にて異常はなし。



以上の症例では高濃度ビタミンC点滴療法が効果あったと考えています。

しかし、他の49歳男性・左側腎臓がん術後+肝転移、58歳女性・右側肺がん+肺内転移+胸水貯留、84歳女性・胆のうがん、78歳女性・膵臓がん等の患者では、高濃度ビタミンC点滴療法単独、または化学療法と併用でしたが(副作用の嘔気、食欲不振、倦怠感等は軽減できました)、延命効果は認めたものの、なかなか完治には至りませんでした。もう少し点滴の回数やビタミンC量を増やせばよかったのではないかと考えています。

今回の症例報告から手術や化学療法で一旦完治・CR(完全奏功)した患者に施行する場合は高濃度ビタミンC点滴療法の効果があったと考えています。(自院では70歳を超える高齢者に対しては50g以上の量では輸液の容量負荷になり、心臓に負担がかかると考えて施行していません。)

今後は食事やサプリメント療法、そして点滴療法を組み合わせたりすることで、より効果的な治療をしていこうと考えています。

## 症例募集

点滴/栄養療法に関する症例を随時募集しております。詳細は事務局にお問い合わせください。



info@iv-therapy.jp



03-6277-3318

# インプラント手術における 高濃度ビタミンC点滴療法の効果 ～亜急性心筋梗塞のため手術延期後に 処置を完了した症例～

※New Age Medicene(2023.4) より再掲



医療法人明新会理事長／かとう歯科医院院長

## 加藤 通子 先生

### 【略歴】

1984年: 日本大学松戸歯学部卒 (医) 弘進会富田歯科医院 研修  
1991年: 楠風台かとう歯科医院 院長 (大阪府富田林市)  
2007年: 医療法人明新会理事長, かとう歯科医院 院長 (大阪府富田林市)  
2013年: (医) 渡部会ザイゴマインプラントコース受講  
2014年: アライン社認定インビザラインドクター  
2015年: 点滴療法研究会高濃度ビタミンC点滴療法認定医  
2016年: アメリカ合衆国カンザス州ウィチタで開催された IVC&Chronic illness Symposium出席 Riordan Clinicにて研修  
2017年: カナダ トロントで開催された第46回国際オーソモレキュラー学会出席  
2019年: KDCインプラント矯正センタービル開設  
2021年: 柳澤医進塾 (第2期生) 修了

点滴とオーソモレキュラー療法を取り入れた自費診療中心のクリニックを構築

【所属】 日本歯科医師会、大阪府歯科医師会、富田林歯科医師会、日本口腔衛生学会、日本小児歯科学会、日本歯科審美学会、日本アンチエイジング歯科学会理事、点滴療法研究会マスターズクラブ、JSOM日本オーソモレキュラー学会

【著書】「美人はならび」(出版社 みらいパブリッシング)

当院では数千症例のインプラント治療を行ってきたが、手術侵襲が大きくなると免れないのが、術後の腫れや皮下内出血であろう。

現在ではこれら諸症状を含めた治癒機転の改善を期待して、高濃度ビタミンC点滴療法(以下IVCと記載)を取り入れている。

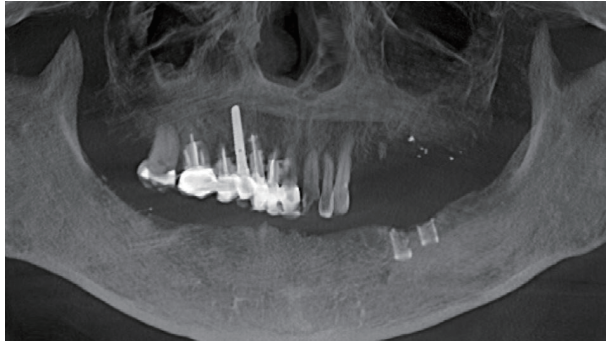
静脈内鎮静下のインプラント手術終盤にVC12.5g、シーパラ1A、蒸留水100ml、補正用硫酸Mg5mlを投与している。術前VitaCheck-C(Riordan Clinic)によるVC定性検査(尿)、術後ポケットケムVCPV1350(アークレイマーケティング)によるVC血中濃度検査を行い、100人のデータ分析と臨床的な効果についての検討を行った。(臨床上の理由からコントロール群はない。)

その結果は予想以上の正の効果であった。またこれらの研究を通して臨床的に次のようなプラス面が大きく現れた。

- 侵襲が大きいほどVCの消費が多いのではないかと結果が得られた。
- IVCを取り入れてから、皮下内出血が明らかに減った。
- 内出血が1週間程度で消えるようになった。(以前は2~3週かかることもあった。)
- 患者のお顔の肌艶や髪の毛の著しい改善が観察された。
- これらの結果が自信になり更に高侵襲のザイゴマインプラント手術を積極的にストレスなく行えるようになった。

以下は亜急性心筋梗塞のためインプラント手術を延期したが、手術は無事に終了し、術後の皮下内出血や出血についても順調に回復した症例である。

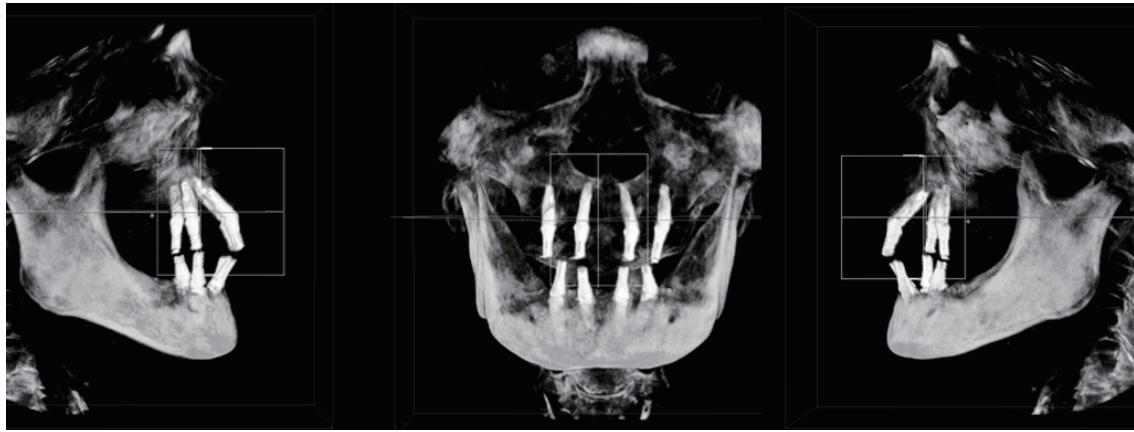




▲ 図1. 術前のパノラマX線写真



▲ 図2. 下顎術後3日目の状態。下顎左右小白歯部相当皮膚に出血斑が観察される。



▲図3. 上下顎に埋入された8本のインプラントを示すセファロメトリックエックス線写真。

### 症例

**咀嚼機能改善と顔貌改善を希望して来院された72歳女性の患者(図1)**

コロナワクチンを接種後、亜急性心筋梗塞で20日間入院、予定されたインプラント手術は延期となった。約1年後、冠動脈ステント埋め込み状態、慢性心不全の状態について詳細な診療情報提供を受けた。本人の意向と検査データを総合してインプラント手術は可能であろうとの結論に達した。当然、血液凝固阻止剤服用を継続しながらの手術となった。術後VC検査結果は以下のとおりであった。

- 10/4 上顎All-on-4 術後VC血中濃度164mg/dl 皮下内出血-
- 10/5 下顎All-on-4 104mg/dl 皮下内出血+ (図2) (1週間て消失)

### 手術後の経過と考察

術後IVCは肉体的精神的ストレスに対抗する抗酸化作用のみならず血管壁強化に貢献し、結果として血液凝固阻止剤服用患者の術後止血効果や不快事項の改善に貢献していると考えられる。本症例において手術は順調に終了したのだが(図3)、下顎手術3日後朝、止血困難を訴えて来院した。

ガーゼによる圧迫止血(コラテープ挿入)30分は効果なし。その後30%笑気吸入鎮静法を併用しての圧迫止血後約20分で止血を確認した。

**IVCがインプラント手術後の回復に効果的であることはもとより、さらに精神鎮静法との併用が不安定な精神状態にある患者の止血に相乗効果を示したのであろう。**

なお患者の最終補綴は手術後約30日後に装着された。

## 加藤先生も登壇! 歯科向けセミナーのご案内

歯科へ栄養点滴療法を導入するのに  
欠かせない情報満載です。

お申し込みは  
こちらから▶

※過去に「歯科医師のための  
点滴療法ベーシック」を受講済  
みの先生は再受講価格で受講  
可能です。



歯科医師の先生必見!

再受講割引有り

## 歯科診療で導入したい 点滴療法・栄養療法

歯科診療のメニューに、予防から治療までオールマイティの**栄養点滴療法**を導入しませんか?

2024年

11月17日(日)



点滴療法研究会マスタースクラブ 副会長 加藤 通子 先生  
医療法人明新会 理事長 加藤 通子 先生  
点滴療法研究会マスタースクラブ 会長 柳澤 厚生 先生

## 国際学会参加レポート

### 第53回

# 国際オーソモレキュラー医学会(ISOM)



会場

2024年5月17日～19日の3日間、アメリカのアリゾナ州スコッツデール市のダブルツリー・パラダイスバレーホテルで第53回国際オーソモレキュラー医学会(ISOM)が第15回アメリカ先端実践医療カンファレンス(AAMP)と合同開催されました。

### 学会のトピックは 成人と小児の神経多様性

学会のトピックは自閉症、小児多動症、神経炎症疾患、小児急性発症神経精神症候群などの精神神経疾患における多様性でした。各講演者の話は、様々な神経疾患を単一と考えずに遺伝、代謝、栄養、毒物など様々な観点から多様性として診断治療をするという新しい考えに集約されました。

神経疾患は私の専門外でしたが、メチレンブルーという色素を使った治療に注目しました。メチレンブルーは日本でもメトヘモグロビン血症の治療に使われます。メチレンブルーは脳のミトコンドリアにおけるATP生成における電子の受け渡しに関わることから 注意欠陥症候群、慢性疲労症候群、記憶障害、ブレインフォグ、減量、さらには運動後のリカバリーなどに用いられます。アメリカではコロナワクチン後遺症の Protokol にも使用され、以前から関心を持っていました。



学会の様子



ポール・アンダーソン先生と

### 2024年名誉の殿堂入り

恒例の国際オーソモレキュラー医学会名誉の殿堂入りはAAMP会長のポール・アンダーソン先生です。アンダーソン先生は複雑な感染症、慢性疾患、および腫瘍性疾患が専門の臨床医で、特に高濃度ビタミンC点滴療法によるがん治療では、米国立衛生研究所(NIH)の介入研究試験の責任者を務めました。

2023年にブラジルのサンパウロ市で開催された国際オーソモレキュラー医学会では、高濃度ビタミンC点滴療法の詳細な治療プロトコルを発表しました。エビデンスが集約されていて、例えば高濃度ビタミンC点滴療法後のナトリウムの増加、クロールの低下、カルシウムの低下を報告、補正の方法について詳しく述べていました。

私はこれまでに何度かアンダーソン先生とお会いし、彼の講演を聴いています。教え方も丁寧で分かりやすく、教育者として一流です。アンダーソン先生にぜひ日本に来て、点滴療法研究会の会員に私たちに教えて欲しいとリクエストしたところ、快諾されました。来年にはぜひお呼びしたいと考えています。

また、来年2025年の国際オーソモレキュラー医学会は中国の上海で計画されています。ぜひ会員の皆様とツアーを組んで出席したいと考えています。



執筆：  
柳澤 厚生先生

点滴療法研究会 会長  
日本オーソモレキュラー医学会 代表理事  
鎌倉元氣クリニック 名誉院長

マイヤーズカクテル、グルタチオン点滴、高濃度ビタミンC療法などを日本に導入した第一人者。著書も多数。



## F.L.A.M.E 設立式・ワークショップ

新緑芽吹く本年4月21日、点滴療法研究会と姉妹提携した新しい組織が台湾で産声をあげました。

F.L.A.M.E.(For Longevity and Anti-aging Medicine Ecosystem)を正式名称とする同組織は、実践的なエコシステムを通じて健康を積極的に増進し病気を遠ざける重要性を広め、地域社会全体の健康意識を向上させることを目的に、主に臨床の現場に携わる医師を対象として設立されました。この記念すべき設立式・ワークショップに点滴療法研究会副会長として参加、講演に行ってきましたのでご報告します。

F.L.A.M.E.の代表・許崇恩医師は、これまで日本やアメリカに足繁く通い栄養療法や点滴療法、アンチエイジング医療を学んだ若きリーダーです。昨年開催された国際栄養医学シンポジウムでは、台湾のみならず、アジア周辺諸国の医師たちを引き連れて勉強に来られ、懇親会では壇上で挨拶をしたことをご存じの先生もいらっしゃると思います。

今回の台湾での“Nutrition Medicine Workshop”は、ホテルメトロポリタン プレミア 台北 (JR 東日本大飯店)の宴会場という贅沢な環境のもと、会員医師26名を対象に9時から17時までの長時間にわたり執り行われました。初めての取り組みにも関わらず6社のブース出展があり、会場に大いに彩りを添えていました。

この日の講義は、点滴療法研究会の「ベーシックセミナーI」を基調としているものの、台湾での製剤事情や許先生の独自性を前面に出したオリジナルといってもよい内容です。私は、酸化ストレス応答を主体とする細胞レベルでのレジリエンスについて特別講演を行ったのち、グルタチオン点滴についてお話ししましたが、質疑応答の時間はもちろんのこと、休み時間にも多くの質問をいただくなど、台湾の先生方の熱心さには本当に頭が下がる思いでした。臨床的にも実践可能な台湾



許先生

版の各種点滴プロトコルが提供できたことで、会終了後のアンケートでは、参加された先生から一様に高い評価が得られたと聞いています。

今後の活動として、本年8月にはIVC認定医特別講座を、10月には当研究会の柳澤会長、Riordan clinicのロン・ハニハイキ先生とトーマス・レヴィ先生を台湾に招いての講演会を予定しているなど、若きリーダーとしての本領を発揮した精力的な活動には益々目が離せません。また、今年9月の国際栄養医学シンポジウムにも来日し講演をする予定ですので、会場で見かけたらぜひ声をかけてあげてください。会員の先生方には、許先生の今後の活躍を一緒に見守っていただけますと嬉しく存じます。



松村先生講義風景



熱心な先生からの質問



執筆：  
松村 浩道先生

点滴療法研究会 副会長  
鎌倉元氣クリニック 院長

平成5年日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室。関東通信病院(現NTT東日本関東病院)ペインクリニック科、医療法人誠之会氏家病院ペインクリニック科・精神科、医療法人社団藍風会江の島弁天クリニックを経て、平成29年10月スピッククリニック(現鎌倉元氣クリニック)院長。著書に「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」(マイナビ出版)「脳腸相関で未病を征す」(七星出版)がある。



# 最新海外医学情報 PICK UP NEWS

## 血糖管理における亜鉛の活用

サプリメントでの亜鉛補給が血糖関連バイオマーカーに及ぼす影響に関して、介入メタアナリシスを統合した包括的な解析を行った論文が6月に報告されました。亜鉛補給が空腹時血糖値(FPG)、ヘモグロビンA1c(HbA1c)、インスリン感受性、およびインスリン抵抗性に与える効果を評価した結果、亜鉛補給はFPGおよびHbA1cの有意な低下をもたらすことが示されました。また、亜鉛はインスリン感受性を改善し、インスリン抵抗性を低下させることが明らかになりました。これらの効果は、特に糖尿病患者および高リスクグループにおいて顕著で、さらに、長期間にわたる高用量の亜鉛補給は、より顕著な改善効果を示しました。これらの結果は、亜鉛補給を含む栄養管理が、血糖管理および糖尿病の予防・治療における有望な戦略であることを示唆しています。



Daneshvar, M. et al. Effect of zinc supplementation on glycemic biomarkers: an umbrella of interventional meta-analyses. *Diabetol Metab Syndr* 16, 124(2024).

## 炎症性マーカーと高齢者の筋機能および認知機能との関連

5月に発表された研究で、高齢者の炎症性マーカーと、筋機能および認知機能との関連が検証されました。初老期(65-74歳)と後老期(75歳以上)の血清中のC反応性タンパク質(CRP)、インターロイキン-6(IL-6)、腫瘍壊死因子- $\alpha$ (TNF- $\alpha$ )を測定し、筋機能は握力と歩行速度、認知機能はミニメンタルステート検査(MMSE)などで評価しました。結果、炎症性マーカーの高値は、両グループにおいて筋機能と認知機能の低下と有意に関連しており、特に、CRPとIL-6の高値は初老期における筋力低下、後老期における認知機能低下と強く関連していました。炎症が高齢者の筋力および認知機能に及ぼす影響を明らかにしたこの結果は、炎症の予防や管理の重要性を示しています。栄養療法・点滴療法によってビタミンCなどの抗炎症物質を補充して炎症を抑制することで、高齢者の筋力および認知機能の維持に寄与する可能性があり、高齢者の健康維持に貢献できると考えられます。

Haeri N., et al. Association of inflammatory markers with muscle and cognitive function in early and late-aging older adults, *The Journal of Nutrition, Health and Aging*, Vol 28-5, (2024).

## 健康には植物ベースの食事がベストか：20年間の研究レビュー

今までに医学界でも様々な食事法が流行してきましたが、近年の欧米諸国では、植物ベースの食事法が最適なものとして確立されつつあります。5月には過去20年にわたる研究をレビューし、植物ベースの食事(果物、野菜、豆類、ナッツ、全粒穀物を中心に構成され、動物性食品の摂取を最小限に抑えた食事)が健康に与える利点を検証した報告がPLoS ONEに掲載されました。レビュー結果によると、植物ベースの食事は心血管疾患、2型糖尿病、肥満、および特定のがんのリスクを低減することが明らかになりました。これらの効果は、植物性食品に含まれる食物繊維、抗酸化物質、ビタミン、およびミネラルによるものであると考えられます。さらに、植物ベースの食事は腸内細菌叢の多様性を高め、腸の健康を促進することが示されました。これにより、炎症の軽減や、免疫機能の向上などの効果も期待されます。動物性食品を避けることで不足しがちな栄養素に配慮し、患者ひとりひとりに合った食事法を栄養療法と組み合わせて提案するのは私たち医師の役割です。



Capodici A., et al. Cardiovascular health and cancer risk associated with plant-based diets: An umbrella review. *PLoS ONE* 19(5): e0300711. (2024)

## 認知症の発症を最大9年前から予測するAIモデル

デフォルトモードネットワーク(DMN)とは、ぼんやりした状態や睡眠時に脳が行っている神経活動のことです。複数の脳領域から構成されたDMNは、日常生活における様々な精神活動や認知プロセスに不可欠であり、さらに、DMNの機能障害が、アルツハイマー型認知症や自閉症、統合失調症など、いくつかの神経精神疾患と関連していることが分かっています。このDMNの結合性の変化をモニターすることで、診断の最大9年前に認知症の兆候を検出できると、6月に英国の研究機関が発表しました。研究者たちは、1111人の認知症患者および非認知症患者のfMRIスキャンをAIで分析し、DMN内の10の主要領域間の結合性の変化をモデル化しました。これにより、診断の最大9年前に認知症の兆候を検出することが可能であり、モデルの予測精度は80%以上であると報告しました。このような技術が発展することで、予防医学によって発症前の介入が可能になり、認知症の進行を遅らせるまたは予防する有効な手段となる可能性があります。

Ereira, S. et al. Early detection of dementia with default-mode network effective connectivity. *Nat. Mental Health* (2024)

開業医様とがん患者さんとの架け橋

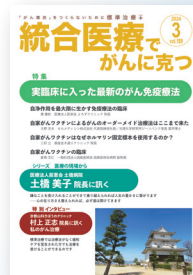
# 『統合医療でがんに克つ』

(編集協力：点滴療法研究会) 内にあります

「高濃度ビタミンC点滴療法実施施設名簿」に

ご紹介されませんか

「高濃度ビタミンC点滴療法」により、  
開業医もがん患者さんを診ることが  
できるようになりました  
柳澤 厚生 点滴療法研究会 会長



「高濃度ビタミンC点滴療法」を求める患者さんのためにお申し込みをお待ちしています

## 掲載料について

- 1 カ月 10,800 円 (税込)
- 掲載誌毎月3冊ご送付 (3,000 円相当)
- その他クリニック紹介などの特典あり

お申し込みはお電話、メールにて

**鎌倉元氣クリニック** 神奈川  
内科 (自由診療)

日本で初めて高濃度ビタミンC点滴療法を導入。ゆったりとした空間の中で、ご自身に最適な各種点滴療法のほか、最新の統合医療が受けられます。

院長 松村浩道 名誉院長 柳澤厚生

〒248-0006 鎌倉市小町 2-12-30 BM ビル 3F  
TEL : 0467-22-3000 <http://www.spiclinic.com/>

名簿掲載例

一般書籍・医療保情報誌

株式会社 **クリピュア**

担当 発行人 吉田 繁光

Email : [y@clepure.jp](mailto:y@clepure.jp)

TEL : 045-317-0388





## 友枝歯科・矯正歯科クリニック福岡天神

### 総院長 友枝 亮先生

【経歴】

2001年 福岡県立九州歯科大学卒業  
 2013年 友枝歯科・矯正歯科クリニック平尾 開院  
 2016年 医療法人LOVE&SMILE設立 理事長就任  
 2019年 友枝歯科・矯正歯科クリニック博多駅前 開院  
 2023年 友枝歯科・矯正歯科クリニック福岡天神 開院  
 2024年 SMILE JAPAN デンタルラボ 設立(歯科技工所)

【所属学会・資格】

日本抗加齢医学会 専門医  
 日本アンチエイジング歯科学会 認定医  
 日本アンチエイジング歯科学会 理事  
 日本口腔インプラント学会 会員  
 日本歯科補綴学会 会員  
 点滴療法研究会マスターズクラブ 会員  
 高濃度ビタミンC点滴療法認定医  
 インビザライン・ブラチナドクター

### クリニックに導入している 点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴
- グルタチオン点滴
- NMN点滴
- 幹細胞培養上清液点滴(エクソソーム点滴)

### クリニックの特徴

【院内環境】クリニックの場所は、福岡県福岡市の再開発プロジェクト、天神ビッグバンにおいて一番力を入れて造っている建物にあり、最上階にはラグジュアリーなおもてなしで有名なホテルザ・リッツ・カールトン福岡があります。100年続いている小学校のグラウンドに建設され、建物の壁はグラウンドの土を使用しています。クリニックのブランドカラーである青と白を基調とした、海、空、太陽、星、月コンセプトとし、自然に戻っていくような雰囲気、またどちらかというと若者の街なので、少しフレッシュな空気感を取り入れています。クリニックカラーのメインである青色は、九大の研究チームと一緒に塗料を開発し、クリニック全体を天然の藍染の青色でナチュラルさを表現しています。壁の青色に沿った波のような白のライティングは自然の中にいるような心地よい空間を作り出しています。

また、若い街と「SDGs」への取り組みを表現するデンムを再利用で圧縮して作ったリサイクルテーブル、チェアも藍色のオリジナルで制作しています。

ディスプレイでは、商品ではあるけれど、健康意識を上げてもらえるようなものを置くことにより、患者様の健康と美に対するイメージを上げてもらえるよう工夫しています。デジタルサイネージはカメラで患者様の年齢や性別を感知し、患者様に合った情報が流れています。



点滴専用ルームは、点滴ルームを使わなくても、「そういうものがあるんですね。」と意識付けしています。また、現在改装中ですが、VIP専用ルームや家族が待機できるスペースも準備中です。

【スタッフ教育】当院では自費診療をメインとしているので自費診療の本当の良さをスタッフに説明することを重要視しています。

- ・求人段階で求めている人物像を明記。
- ・面接、試験にて、理念や方針に沿い、求める人物像に合致する方を採用。
- ・外部の接遇専門の講師による教育(20時間)接遇/理念教育/行動の基礎
- ・院内教育

おもてなしカウンセラー(クリニックの理念「おもてなし」の専門スタッフ)

心理学を基礎としたスライドを作成、心理学を基礎とした喋り方を徹底的に教育。人間の根幹を教え、人としての在り方や人間力を身につけてもらっています。人の多様性をあらゆる角度から知り、心理学・マナー・コミュニケーションを学び、人と人とを繋げる人材を育てていきます。スタッフ自身の幸せの為に、社会の為に、人の役に立て、世の中に対する恩返しのできる人材を育成したいと思っています。



## 心がけていること

歯の健康を守る事は、幸せな人生の為に最も重要な事の一つです。そのために、健康長寿の達成を目指す「アンチエイジング」医学の考えを導入し、**カウンセリングや診療などを通じて、患者様へ適切な医療と情報を提供しています。**

内装、音、接遇に至るまで五感に訴える癒しと「おもてなし」にこだわり、リラックスして通院できる空間をプロデュースし、苦手な方でも笑顔で通えること、より健康で美しくなれる治療を受けられる、**患者様の人生や美しさまで診るアンチエイジング歯科型医院を目指すこと**を心がけています。



友枝先生と当会副会長の森永先生

## 動画サイト新着情報

友枝先生と森永副会長による対談動画をUPいたしました！動画の中で友枝先生の歯科医療に対するこだわりをお話いただいております。



## 患者さまへの告知方法

受付にサプリメントの商品にポップをつけて陳列。問診票には栄養が気になっていないかという項目を掲載しています。

通常の検診で来院2回目を説明の日とし、何枚かのスライドを作成し、お見せしながら状況を説明していますが、そのスライドのなかに栄養のスライドを設け、お話しています。さらに気になる方は管理栄養師が指導を行うこともありますし、治療の段階でお声かけをしながら進めていくこともあります。

例えば、歯周病治療にビタミンC点滴をご提案する際は、患者様にどこがどの程度の炎症をおこしているか、何が問題なのかを一目瞭然でわかっていただく方法として、**スマホで口腔内を撮影し、ユニット前の画面に投影しながら説明します。**「歯周組織が破壊されていることが考えられるのでビタミンC点滴でビタミンCの補充がおすすめですよ」などと提案がしやすくなります。**ユニット近くにはポスターや、点滴ルームにパンフレットを設置しています。**

外部に対しては、HPに1ページ点滴療法についての説明や、商業ビルなので外に対しての電子掲示板を活用しています。

## マスターズクラブ会員の先生へのメッセージ

点滴療法は本来の効果はもちろんのこと、他にも重要性があると考えています。良い医療を提供したい際、高額になることが多いので小さい額の事から始めたほうが心理的ハードルが下がると思います。そういう意味では、まずは**サプリメントだったり、点滴だったりすることが良い医療への理解と足を踏み入れるようになり、心理的ハードルを下げてくれるので、この先いずれ大きい自費の診療があっても患者様が受け入れてくだされば医療従事者としては本望ではないか**と思います。

また、お互い医者同士では良い治療をしているが、一般の患者様には教えないという状況が続いていると感じています。それを伝えられるようになるということが良い循環につながるのではないかと考えています。

## 友枝歯科・矯正歯科クリニック福岡天神

■電話番号 0120-348-338

■公式サイト <https://www.tdc-tenjin.com/>

■責任者 友枝 亮

■所在地 〒810-0041

福岡市中央区大名二丁目6-50 福岡大名ガーデンシティ2F

■診療時間 9:30～13:15 14:30～19:00

■休診日 日曜・祝日

# 水素ガス吸入ならハイセルベーター

2016年、世界に先駆け、初の「がん治療」における水素ガス活用がありました。  
その機器こそが、ハイセルベーターだったのです！



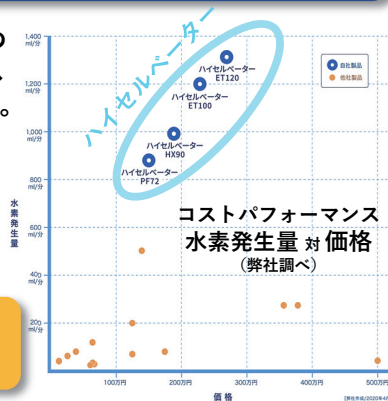
## クリニック・治療院 トップシェア

クリニック・治療院を中心に約**2,000**件の活用実績を頂いております。  
(2015年開始時より2024年現在迄の出荷台数ベース)

## 高排出・高耐久性・高コストパフォーマンス

効果・体感性を高めるため国内トップクラス・最大スペック**1,300cc/分**を実現。

連続運転時間の長さ(最長スペック**12h**)、毎日長時間使用可能な耐久性も備えております。



## 学術機関との共同研究活動

- 東京大学 2019～継続中
- 山梨大学 2017-2018
- チェンマイ大学医学部2023年～
- 「国際水素医科学研究会」会員



クリニックスペック  
なのがいいね！

## クリニック様 導入の声 「点滴+水素吸入で相乗効果、体感の共有も」

点滴療法研究会会員 **グレースメディカルクリニック 院長 伊藤信久様**

### 目的 & 提供

当クリニックでは、慢性疾患に伴う疲労回復目的や、動脈硬化の予防等の目的で、または、美容点滴の相乗効果として水素吸入を行うことが多いですね。

### 導入後の変化

定期薬だけでは治らなかった症状や、長く悩まれていた症状が少しずつ改善の実感を持たれている方が多いです。  
吸入後に明るい表情で帰っていかれるのを見ると、こちらも嬉しい気持ちになります。もっとたくさんの患者様とこの体感を共有できるように水素吸入を勧めていきたいと思っております。



## クリニック様限定 無料デモプラン実施中

お申込は、お電話またはお問合せフォームで資料請求などもお気軽にお問合せ下さい。

- ・高排出水素吸入機の実力をお試し下さい。
- ・水素の院内勉強会もご対応いたします。

TEL **03-3234-8000** 平日9:00～17:00





動画で広がる点滴療法の世界!

# 動画サイト リニューアルのお知らせ

点滴療法研究会の動画サイトでは、さらに充実したサービスをご提供するために大幅な改善を行いました。新しいサイトで、より多くの点滴療法についての知識を手軽に、そして無料でご覧いただけます。(一部動画を除く)



**無料**  
新しい  
会員サービス

## 大幅リニューアル！新しく生まれ変わった動画サイトをチェック！



45時間以上のコンテンツを  
会員限定で無料で学べます。

2024年7月末時点でのコンテンツボリューム

点滴ワンポイント 34動画 5時間以上

特別セミナー 約40講演 40時間以上

※直近3年の特別セミナー動画・一部動画は含まれません。

### 無料動画の大幅拡充！

これまで一部のみ無料で視聴いただけた動画を大幅に拡充。一部を除く多くの動画を無料でご覧いただけるようになりました。幅広い医学情報、会員インタビュー、多彩なコンテンツをいつでもどこでもお楽しみいただけます。

### UIの改善で使いやすさ抜群に！

動画サイトを直感的でわかりやすいデザインに改良。必要な情報にすぐにアクセスできます。視認性も向上し、快適な視聴体験をお届けします。

### 新着動画の販売も開始！

直近3年で実施された特別セミナーは、オンラインショップにてご購入いただけます。最新の医学情報や特定の疾患・治療法に関する動画など、詳細な情報を得ることができます。

### 視聴方法

- ①動画サイトにアクセス：会員サイトから、またはQRコードを読み取ってアクセス。
- ②会員ログイン：会員IDとパスワードを入力ログイン。
- ③動画を選択：カテゴリーやタグ機能を使って興味のある動画を探してください。
- ④視聴開始：選んだ動画をクリックするだけで、すぐに再生が始まります。



<動画サイト>

### 無料動画を一部ご紹介

<p>トーマス・レヴィ医師 特別講演</p> <p>日米から学ぶ <b>総合医療最前線</b></p> <p>レベル 01</p> <p>トーマス・レヴィ医師 慢性疾患と感染症の予防 治療の鍵「マグネシウム」の役割</p>	<p>「患者ファーストの医療で選ばれる医師になる」</p> <p>最新統合医療の 臨床を学ぶ</p> <p>レベル 05</p> <p>ホルモン治療の実践</p> <p>上野 正広 医師</p>	<p>匠から学ぶ がん治療最前線 2018 12月号</p> <p>レベル 01</p> <p>がんの治療法としての 膵内フローラ移植</p>	<p>動物のための 栄養療法の症例</p> <p>●症例1：肝臓腫瘍 ●症例2：頭部腫瘍</p> <p>栗田 博子 医師</p>
<p>予防医学のプロフェッショナルから学ぶ ワンランク上の 歯科医療</p> <p>レベル 01</p> <p>医療の潮流はクイズから始まる！ 「予防」医療、歯科の未来を予測して</p> <p>森本 宏房 医師</p>	<p>オゾン療法の実際</p> <p>レベル 03</p> <p>オゾン療法の応用</p> <p>松村 浩道 医師</p>	<p>未来を変える アンチエイジング</p> <p>レベル 05</p> <p>アンチエイジング医療における セルフリーセラピー</p> <p>山田 佐和子 医師</p>	<p>臨床現場における 幹細胞上清療法 の導入と実践</p> <p>レベル 01</p> <p>抗老化先進医療としての 再生医療</p> <p>山田 佐和子 医師</p>



# 会員サービスのご案内

メールマガジンにご登録ください！

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、各種キャンペーンやお得な情報をお送りしております。お見逃しなく！メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後マイページよりご登録ください！



## 会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご活用ください。

### 認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

### 学習サポート

- ・症例・論文
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会  
日本オーソモレキュラー医学会  
国際個別化医療学会

### クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ作成サービス
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲載
- ・会員証発行

## クリニック運営サポート スタッフ教育・集患・販促強化

点滴療法の提供体制の構築から、集患や院内販促まで！クリニックの運営をサポートする商品・サービスをご提供

### スタッフ教育

先生方や医療スタッフ向けサポート教材

#### 手技マニュアル



【全99ページ】  
点滴バッグの準備から穿刺までの一連の流れやコツを詳しくカラー写真の図解で解説。

#### 手技動画



※USBフラッシュメモリにて頒布  
点滴療法をこれから導入する先生や、スタッフの方を対象に、高濃度ビタミンC25g点滴の作成と手技の一連の流れやコツを解説。

- 穿刺のコツ・血管の選び方
- ミキシング・プライミングのコツ
- 点滴中のおこりやすいトラブル
- 点滴療法の質を上げるコツ

### 集患強化

クリニック検索サイト

#### クリニック検索掲載 & 詳細ページ作成

自院の認知拡大・集患に！



年間検索回数 80,000回以上！

当会ウェブサイトのクリニック検索一覧にて自院の情報を詳しく掲載。点滴療法を受けたい患者様への強力な訴求ツール。

### 院内販促

待合室などで患者様の興味と理解を喚起！

#### リーフレット

(+掲示用A3ポスターつき)



- 全6種 [高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版or美容・アンチエイジング版) / マイヤーズカクテル点滴療法 / 歯科医院における点滴療法 / グルタチオン点滴療法 (美容・パーキンソン病版)]
- ゴム印・シール貼付スペースあり

#### 院内販促動画

デジタルサイネージ

点滴療法の興味と理解を喚起！



- 高濃度ビタミンC点滴療法 (がん治療版)
- 高濃度ビタミンC点滴療法 (アンチエイジング版)
- マイヤーズカクテル点滴療法
- 歯科医院における点滴療法
- グルタチオン点滴療法 (美容版) **NEW!**

会員限定 オンラインショップにて販売中！▶



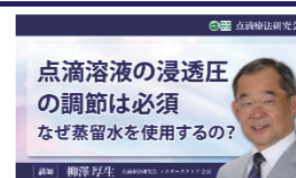
### 学習サポート

## 動画学習

スタッフ教育にもオススメ！



無料  
新しい  
会員サービス



動画サイトはこちら



### 学習サポート

## 症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、ログインが必要です。



#### 「症例から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

#### 「論文から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」  
Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis *Nature*(2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」 Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. *Free Radic Biol Med.* 2011 Aug 1;51(3):681-7

## 2024年点滴療法研究会 協賛企業のご紹介



### アークレイマーケティング株式会社

ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。  
TEL.050-5527-7700



AIDANPRODUCTS

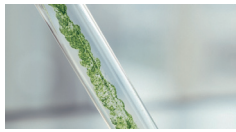
### 株式会社アイダンプロダクツジャパン

柳澤先生ご監修のミトコンドリア活性サプリMITO ATPの取扱いをしております。  
TEL.03-6811-1318



### 愛知電子工業株式会社

血管の状態を簡単に測定でき、状態を改善させるシステムを提供します。  
TEL.052-835-0055



### 株式会社アルガルバイオ

アルガルバイオは、東京大学における20年以上の研究成果を基に、新しい機能性コロララを選出しました。  
TEL.04-7138-6207



### アンブロシア株式会社

各種検査(遅延型フードアレルギー/重金属/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO/ビタミンD/ホルモン)  
TEL.044-299-7946



### 株式会社医道メディカル

■臍帯由来エクソソーム関連商品開発、販売事業  
■創業事業 ■検査受託事業 ■有用微生物サプリメント  
TEL.03-6266-0071



### 株式会社イムダイン

栄養補助食品の製造、販売。水素・酵素・声のサプリメントなどの展示。  
TEL.03-5467-6284



### Wismettacフーズ株式会社 ナチュメдика事業グループ

ナチュメдикаサプリメントは科学的根拠・機能性にこだわり、柳澤先生監修のIVCシリーズ等ございます。  
TEL.03-6870-2006



### 株式会社ウェルハート

海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。  
TEL.03-6812-5501



### 株式会社AOBメディカル

1. 浄化濃縮幹細胞培養上清の販売 2. グルタチオンの販売(600mg/1V) 3. アンピタ注射液の販売など  
TEL.03-6427-7785



### NADクリニック

NADクリニックのNAD+関連製品の販売  
■NAD+点滴 ■NAD+サプリメント  
TEL.03-4214-2020



### 一般社団法人NMN医療研究会

NMN点滴研究用試薬  
TEL.03-6263-0152

メディカルサプリメントの  
リーディングカンパニー



株式会社MSS

医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐えうる性能と品質」をお約束します。  
TEL.03-5366-0208



### 大里研究所

当所開発のFPPIは抗酸化能を持ち、ATP産生・免疫機能改善等の特許を有するパパイア発酵食品です。  
TEL.058-534-3830



### オーガニックサイエンス株式会社

日本のマグネシウム研究をリードし、100%天然成分に拘ったマグバームやマグリボ等の開発・製造を行う。  
TEL.0800-222-0986



### 有限会社クマック

10万種類の物質測定で最も自然免疫活性が高いぬか床由来の物質を発見。東京大学病院取扱中。代理店募集!  
TEL.087-862-4778



### 有限会社クレアラボジャパン

米国では50年以上も医師に活用されている、多菌種混合のプロバイオティクスサプリメントを提供しております。  
TEL.045-534-9518



### 株式会社 玄米酵素

1971年創業。玄米を麹菌で発酵した自然派サプリ。ビタミン、ミネラル、食物繊維、抗酸化物質が豊富。  
TEL.011-736-2345



### 医療法人社団 THE CLINIC Institute AZACLI麻布クリニック

最先端の再生医療に特化したエイジング治療クリニック「AZACLI」に併設された細胞加工施設です。





### 株式会社サルベストールジャパン

がん治療を目的とした医療機関向けサプリメント・サルベストールプラチナム2000を販売。  
TEL.03-6450-2406



### 株式会社デトックス

治療剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバー。  
TEL.03-5876-4511



### 株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

◆医師がすすめる乳酸菌サプリ『アルベックス』  
◆認知機能改善サプリ『プラスマローゲン』  
TEL.03-3288-0068



### 株式会社 すかい21

瞬時にわかる計測システム「Scanアナライザー」や「MDケイ素」など測定からソリューションまで幅広く取扱い。  
TEL.098-887-2012



### 東栄新薬株式会社

露地栽培アガリクスKA21の研究開発会社。免疫、育毛、口腔・腔・腸カンジダ対策サプリの無料サンプル進呈中。  
TEL.0422-26-7310



### 株式会社First・Health・Japan

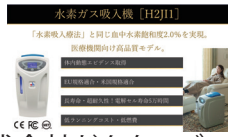
USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等  
TEL.0463-20-9070



STEM CELL TECH

### 株式会社ステムセルテック

ヒト乳歯髄由来の不死化幹細胞培養上清液の原料販売と製品開発事業。美容から難病まで幅広い分野での使用が可能。  
TEL.03-6459-3316



### 株式会社ドクターズ・マン

慶大医学部が推進する「水素吸入療法」と同等の血中水素飽和度2.0%になることが科学的に証明された水素吸入機  
TEL.045-905-2330



### ベネビオ株式会社

独自のリポソーム技術を用いた国内製造のリポソームサプリメントシリーズ「リポビット」を販売しています。  
TEL.03-6804-6046



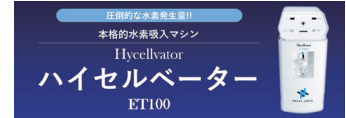
### 株式会社スピック

Lypo-Cは、微小な脂質カプセルである「リポソーム」に有用成分を閉じ込めて、からだのすみずみまで適切に届けます。  
TEL.0467-24-1045

## NEO AGING

### 株式会社DORIS

「NEO AGING」これまでの老化対策「抗老化/アンチエイジング」に新たなテクノロジーが加わりました。  
TEL.03-3564-1550



### 株式会社ヘリックスジャパン

水素・酸素の混合ガス吸入機「ハイセルベーター」。業界最高水準の水素発生量1,200ml/分です。  
TEL.03-3234-8000



### 株式会社SOPHIA

ポストバイオティクスという乳酸菌やビフィズス菌の代謝産物の腸活サプリ。腸と免疫のサポートをします。  
TEL.03-6276-1551



### 一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

正しい栄養療法の理解と認知を広げるためにWebメディアで情報を発信するとともにセミナーを開催。  
TEL.03-6821-1461



### 株式会社Mirai Resort

臨床培養上清安全性審査委員会 認定の「Dr.歯髄幹細胞上清液」  
TEL.03-6778-8696



### 第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に開発した、口腔内専用のパワーフォイdanマウスジェルCG  
TEL.06-6131-0370



### 日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

アメリカ製医療用サプリメント輸入代理店。1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包装など。  
TEL.03-5530-2212



### 株式会社LiNK

ヨウ素製剤に関する臨床・研究の情報収集、他学会・団体との交流・親交を深め知識向上を目的とした講習会・学術活動を実施。  
TEL.03-6417-1920



### 共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスインターナショナル)

Mylan社ビタミンC製剤・Woerwag社αリポ酸製剤の受注窓口として、受注業務を代行しています。  
TEL.03-6300-0152



### 株式会社 ニュートリション・アクト

食べて幹細胞を活性化!リバースエイジングを実現するサプリメント『ヒフワンシステムプロ』2024年新発売  
TEL.03-3538-5811



### 一般社団法人 臨床水素治療研究会

水素点滴を用いた各種疾病の治療や予防効果の調査研究、水素治療における専門的な知識向上を目的としています。  
TEL.03-3221-6313



# information

## 点滴製剤・試薬のご案内

ビタミンC

Ascorbic Acid Injection

マイラン社

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤の入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。国産の製剤は、防腐剤が入っているため適しません。また、ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2〜8℃の冷蔵保管が義務づけられています。当会では、**冷蔵空輸にて日本に出荷される安全なマイラン社製のビタミンC製剤を推奨**しています。

グルタチオン

台湾製グルタチオン

TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社

昨今、国産グルタチオン製剤の流通が制限されている状況から、安全な日本製原料を使用した台湾製グルタチオン製剤をご紹介します。製薬会社である、TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社製のグルタチオン製剤は、**台湾で薬として国に認可**されています。

※輸入代行：AOB MEDICAL 社 ご購入は、AOB MEDICAL のウェブサイトより、会員登録（無料）が必要です。

NMN

完全β-NMN

一般社団法人  
NMN 医療研究会

NMNには、分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、**人体で生成され、有益な効能を持つのはβ-NMNのみ**とされています。当社団がとりあつかっているのNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、**保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤**です。

※試薬でのご提供

NAD+

NAD+ Injection

NAD CLINIC

ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（NAD+）は、抗老化において主要な重要性を持つとされており、これまでに**コネクシン43（様々な組織）およびP2X7ゲートドチャネル（神経細胞）**を介して細胞内に直接入ることが示されており、点滴でNAD+直接補充しNAD+レベルを上げていくことでエネルギーの増加や代謝改善、認知機能向上、長寿やアンチエイジングなど効果として期待されています。

※試薬でのご提供

エクソソーム

M2P-Exosome™

AZACLI

エクソソームに内包されている**無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。**

M2Pエクソソームは、通常の脂肪由来幹細胞の5,000個に1つのエリート幹細胞のみをセレクトし、それを培養することで抽出します。エリート幹細胞は若く、増殖速度も非常に速いのが特徴で、抗老化に特化したハイスペックなエクソソームといえます。

※試薬でのご提供

エクソソーム

エクソソーム培養液 プレミアム  
エクソソーム培養上清液

(株) 医道メディカル

東京大学分子定量研究所および順天堂大学医学部との医療連携のもと、**国内では稀有のMISEV基準に準拠した臍帯WJ由来エクソソーム**を提供。標準化された品質管理、効果の最大化、臨床応用のプロトコル作成、これらに透明性と再現性の確保を実現しています。

※試薬でのご提供

各製剤（試薬）の詳細はこちらから ▶



会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2024.7

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカビル4F/Tel: 03-6277-3318/E-mail: info@iv-therapy.jp